

障害者に関する意識調査（結果）

山梨県福祉保健部障害福祉課

1 アンケート調査の実施時期

平成26年11月

2 県政モニター数

・一般モニター	（郵送によるアンケート調査）	282人
・インターネットモニター	（電子メールによるアンケート調査）	98人
	合計	380人

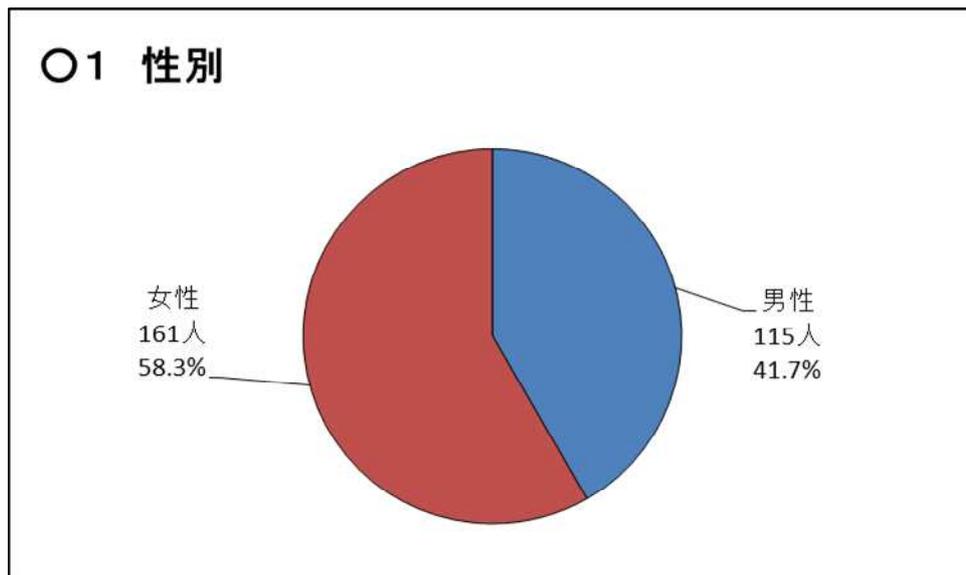
3 回答数

・一般モニター	（郵送によるアンケート調査）	222人
・インターネットモニター	（電子メールによるアンケート調査）	55人
	合計	277人

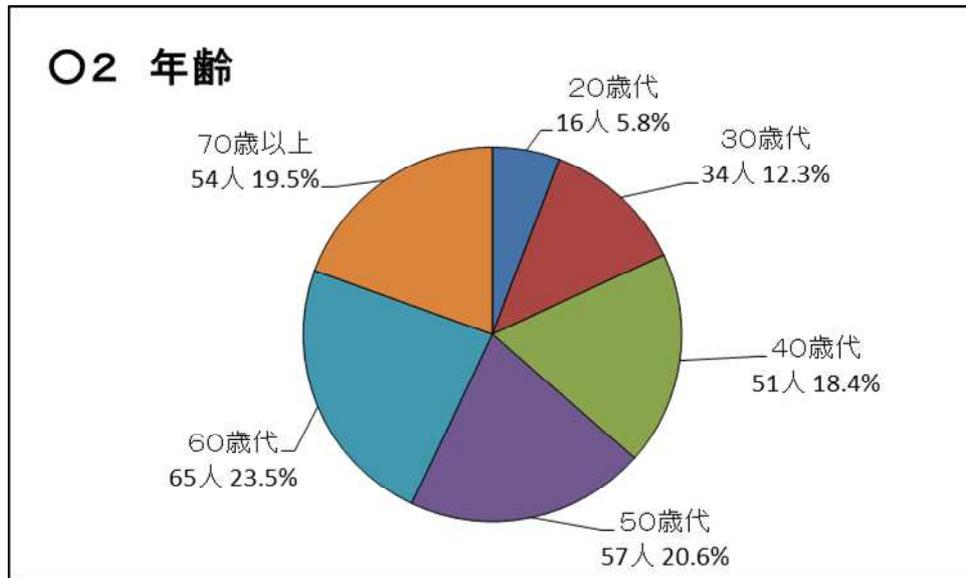
回答率 72.9%

4 集計結果

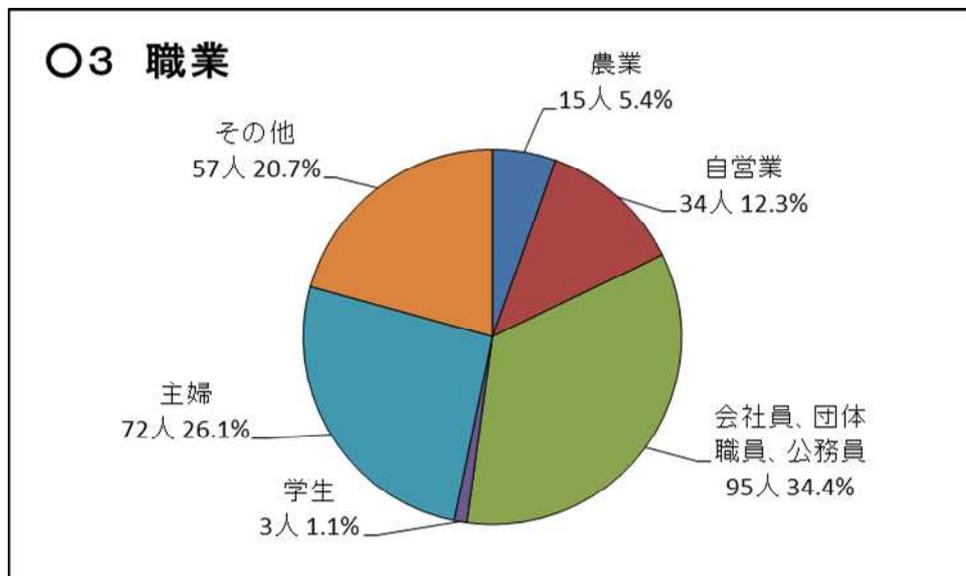
1 あなたの性別はどちらですか。



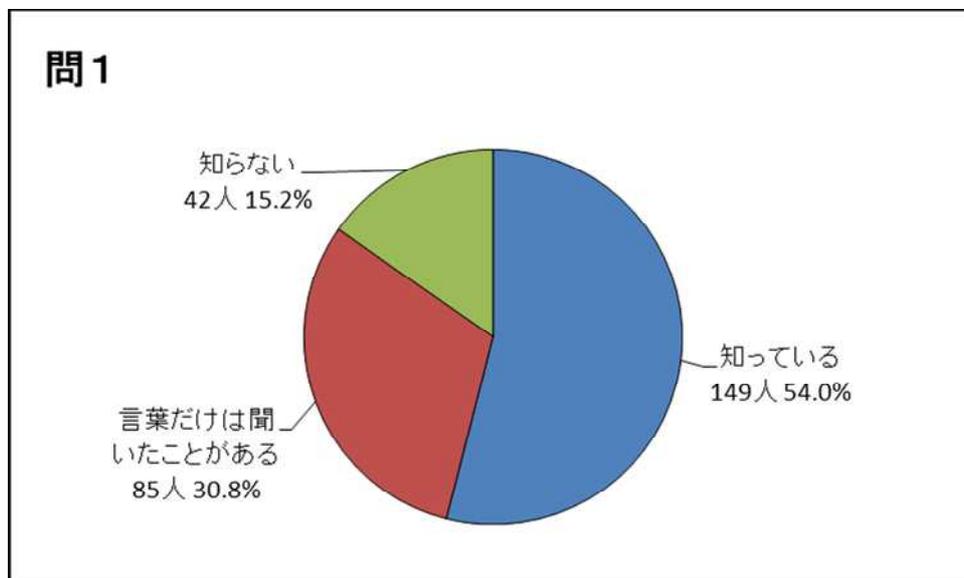
2 あなたの年齢はおいくつですか。



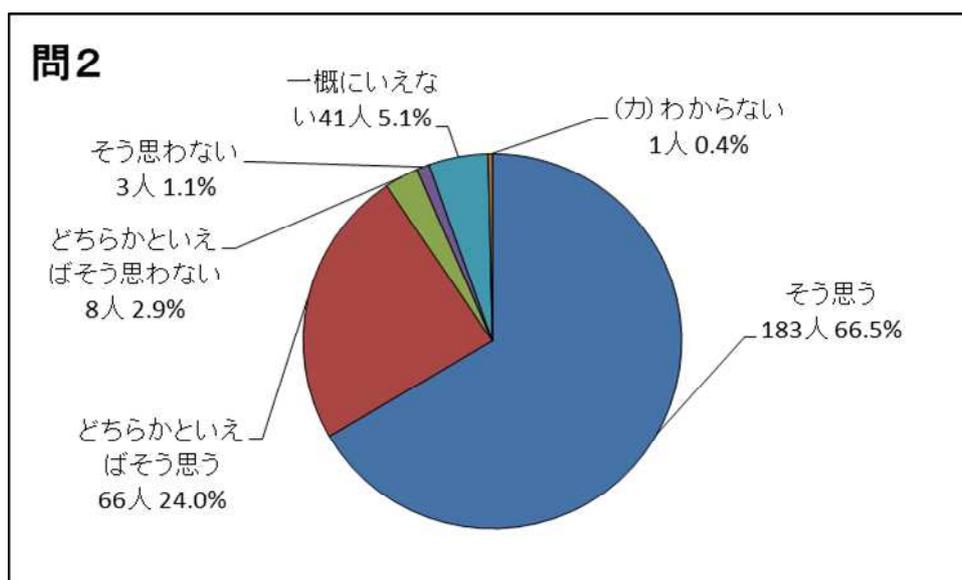
3 あなたのお仕事についてお伺いします。



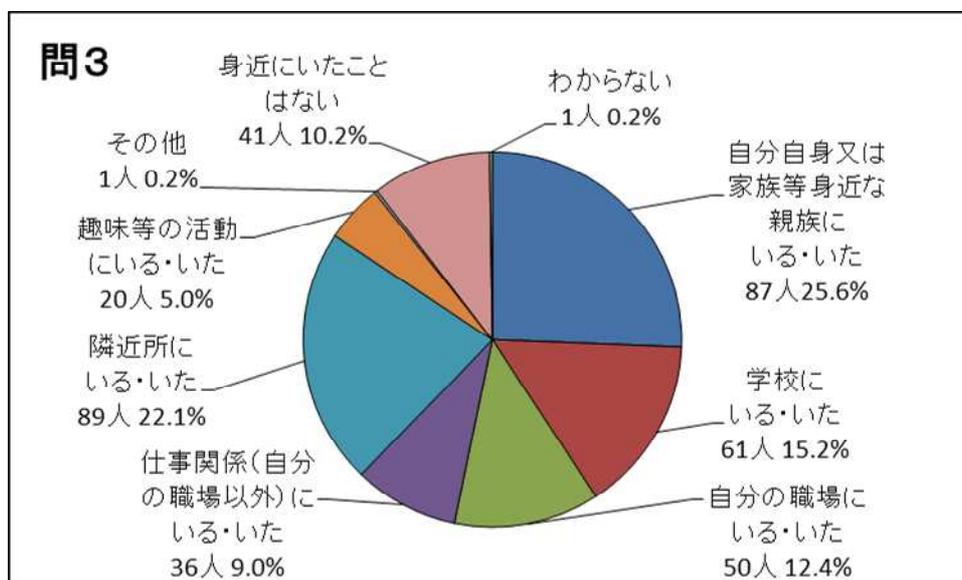
問1 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。この中から1つだけお答えください。



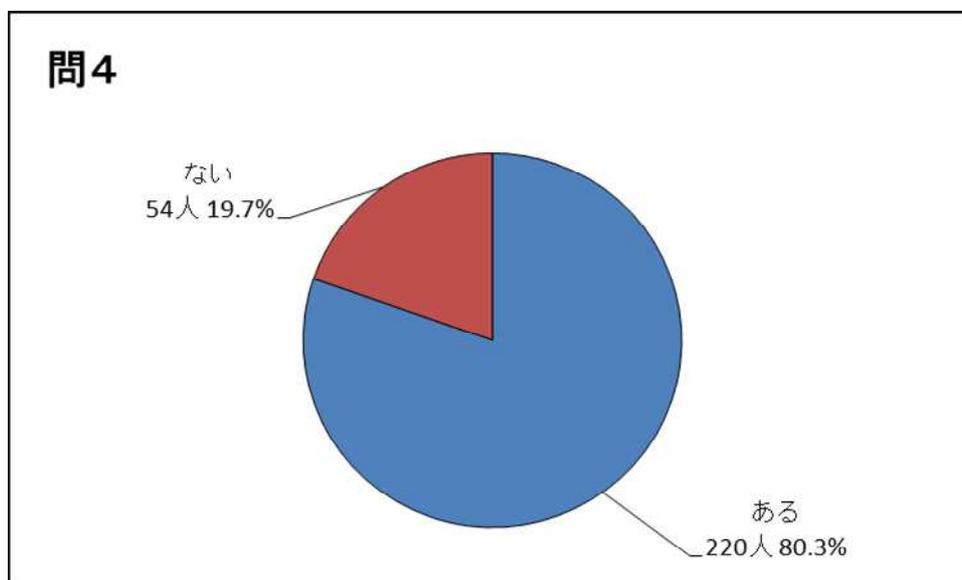
問2 国や地方公共団体では、「共生社会」の考え方に基づいて、障害のある人もない人も共に生活するための環境づくりを進めています。あなたは、「障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方について、どう思いますか。この中から1つだけお答えください。



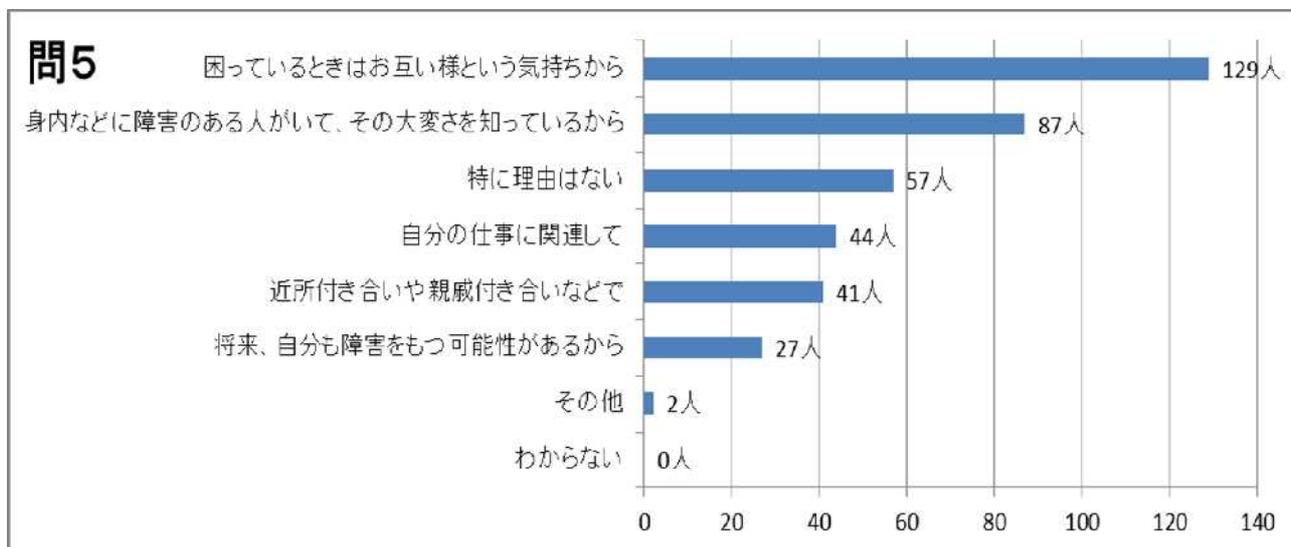
問3 あなたの身近に障害のある人がいますか、または、これまでにいたことがありますか。あてはまるものをこの中からすべてあげてください。



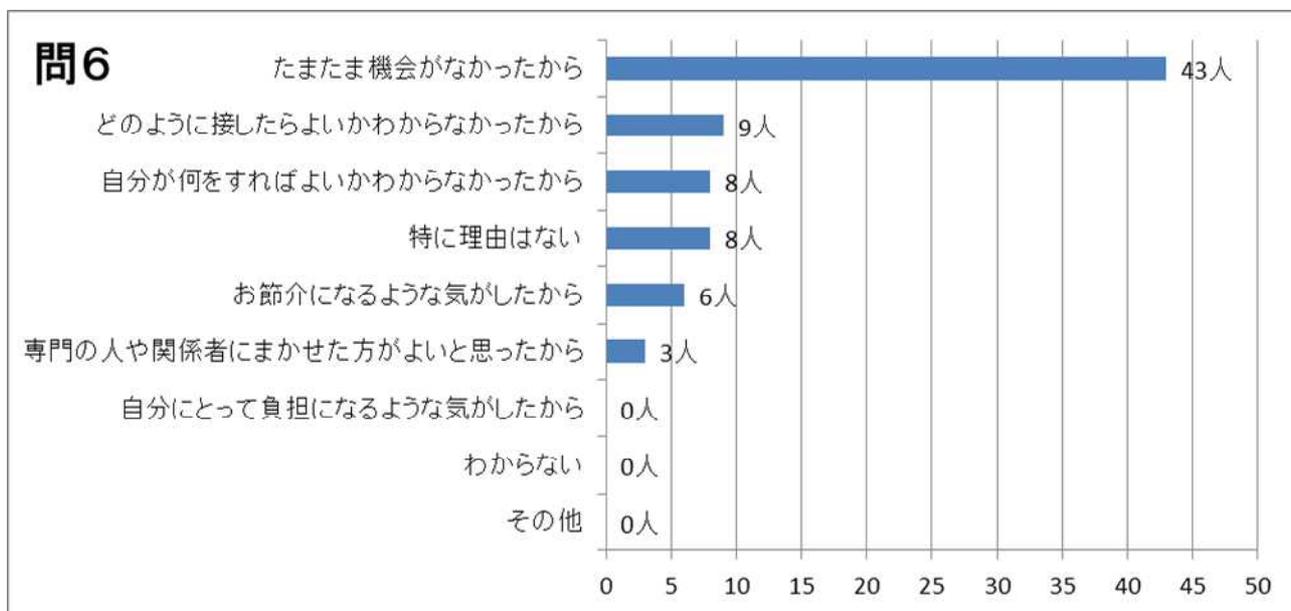
問4 あなたは、障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたことがありますか。 (ア)ある 問5へ、(イ)ない 問6へ



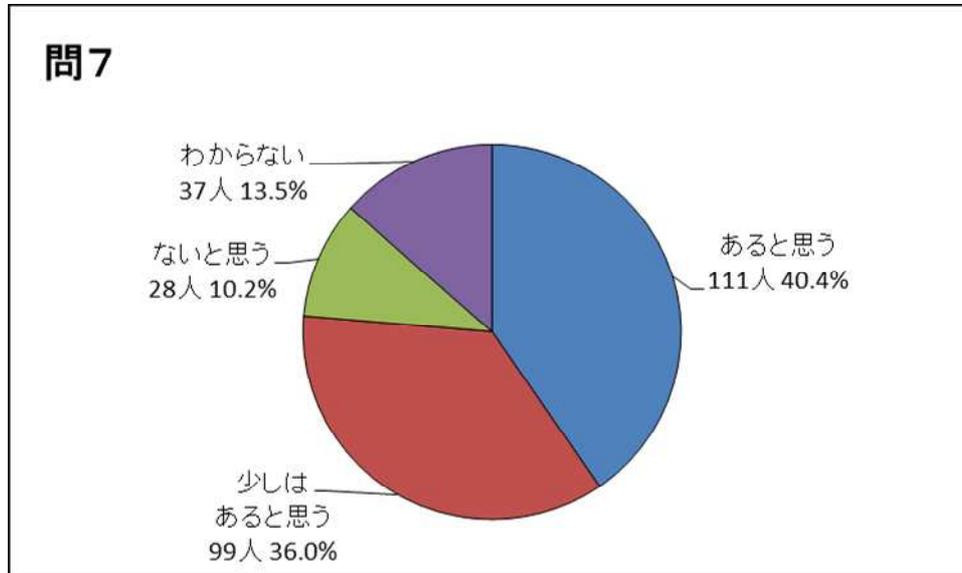
問5 問4で「ある」と答えた方に伺います。それはどのような気持ちからでしょうか。この中からいくつでもあげてください。



問6 問4で「ない」と答えた方に伺います。なかったのはどうしてでしょうか。この中からいくつでもあげてください。



問7 あなたは、世の中には障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。この中から1つだけお答えください。
(ア)あると思う 問8へ (イ)少しはあると思う 問8へ

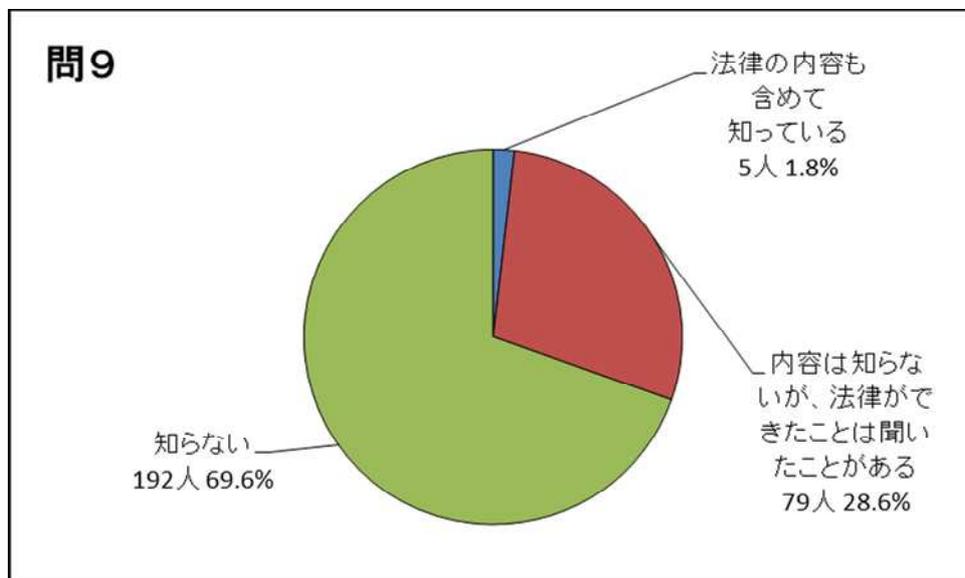


問8 問7で「(ア)あると思う」、「(イ)少しはあると思う」と答えた方に伺います。
あなたは、具体的にどのような場面や事由で、差別や偏見があると思いますか。いくつでも記載してください。

- ・外見、言葉、話し方等で健常者の見方がかわる
- ・必要以上に配慮することによる逆の差別意識が生まれてしまうこと。
- ・相手の立場を理解しない言葉、態度等。
- ・困っている時に見て見ないふりをする。
- ・ほんの少しの配慮で周りと同じようにできるのに、その配慮がなく最初からはずされる。
- ・公共の乗り物内で一度は見るが目をそらす人が多い。
- ・障害者に対する公共施設においてインフラ整備が進んでいないと感じる。
- ・職業につく時が一番多いと思う。近所付き合いにおいても多少あると思う。
- ・学習中の障害、普通の行為がとれない場合の周囲の目。スムーズに進行できない周囲への妨げになるなど…。義務教育後の世の中へのかわり、就労などの面でその門がとても狭い。
- ・就職面での差別。就職できる職種に限られる。能力があっても低賃金である。
- ・公共の場などで、動きまわったり、奇声をあげたりする方などに対して、まわりの目が冷たかったり、うるさいなどという場面を見た時。
- ・障害者の方がシルバーシートの前に立った時、皆寝たふりをした時。
- ・レストラン等でのせまさ。車イス利用者だと通れない。道路の段差。トイレの小ささ。

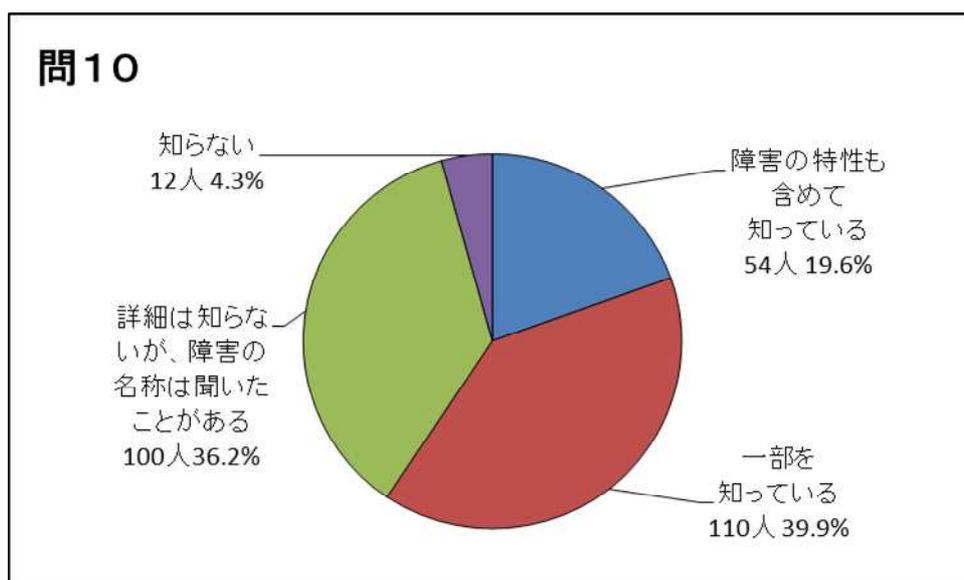
- ・障害があると言う事だけで、仕事をことわられる。
- ・公共施設で大声を出して、さわぎ出した時、まわりにいた人が冷ややかな目で、その人や保護者を見つめていた。
- ・バリアフリーでは無い所が多い。
- ・障害があるというだけで色メガネで見られがち。身体的な障害にはやはり日常生活の中で多少のハンディキャップが生じるのは事実で、時にはまわりの支援が必要になる。正直、面倒と思う人は一定数いる。
また、精神的な障害の場合、何をされるか分からないという不安感が常にあり、余計に関わりたくないと思ってしまう。自分の身にふりかかる事になると自己保身に走りがちになり、差別や偏見につながっていると思う。 "
- ・障害者に対して偏見の目で見ると。邪魔者扱いする。
- ・障害者と一緒にいると面倒だということを言っているのを耳にした時。
- ・障害者が困っている時、見て見ぬ振り。施設などの利用の断り。
- ・聴力障害を持つ子の母が入居時、住宅周囲の人達へその事を伝え、車の走行速度等を気を付けて欲しいと話して周ったが、一部の人はその事に対して文句にちかい影口をたたいているのを聞いた。同じ子を持つ母でも理解のない人が多いと感じた。
- ・町内の行事等で偏見があると思う。
- ・オリンピックのメダリストはほとんどの人が知っているが、パラリンピックのメダリストはほとんどだれも知らない。
- ・段差や階段など歩ける人に合わせて作られた建物。点字や音声案内が「あたりまえ」のこととして整備されていない。介助すること、助け合うことを特別なことととらえる考え方など。
- ・仕事をできる事しかさせない。サービス業などではお客さんの前に出さない。明らかに言葉づかいが違う。
- ・障害の中身（身体、知的、精神）をよく知っている人自体が少なく、教育もされていないので、腫れもののような存在としてあつかわれる。障害者はかわいそうな人であるという認識はあるが、知識がないため、配慮をもとめても、どういうことが配慮になるのか分からない人が多い。
- ・自閉症の子供が学校で理解されなくて、余計不安定になった。
- ・障害のある人の側へよらない。何か別のものを見るような態度をする。必要以上に手をかける、世話をやく。
- ・日常生活の中で健常者の暮らしの中で普通に生活出来る仕組が十分にできていない。社会的に健常者と同等の位置で仕事ができるようになっていないと思う。
- ・盲導犬を連れた方が利用できる店、場所に制限がある時。
- ・点字ブロックの上に自転車がとめてあったり、物が置いてあったりする。
- ・すべての人がいろいろな障害に対して理解しているわけではないので、特性のある障害者の行動に対してジロジロ・罵倒などある
- ・地域の行事や催し物で、障害者を優先させるようなことが、多くてもよいと思うが、実態はそうでもない。

問9 国は、平成25年6月、障害のある人への差別をなくすことで、障害のある人もない人も共に生きる社会をつくることを目的とした、「障害者差別解消法」を制定し、平成28年4月から施行となりますが、あなたはこの法律のことを知っていますか。この中から1つだけお答えください。

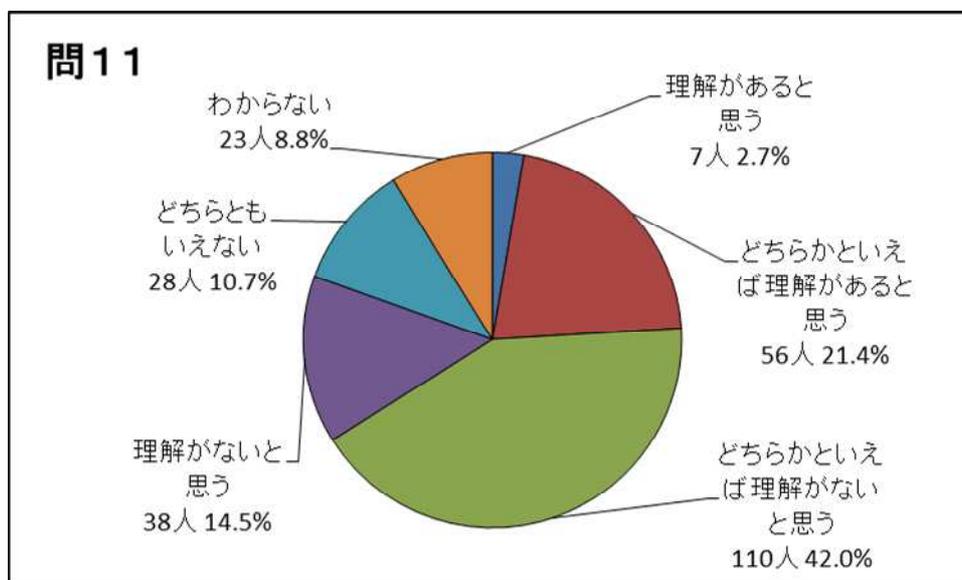


問10 発達障害には、学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）、自閉症などがありますが、あなたは発達障害について知っていますか。この中から1つだけお答えください。

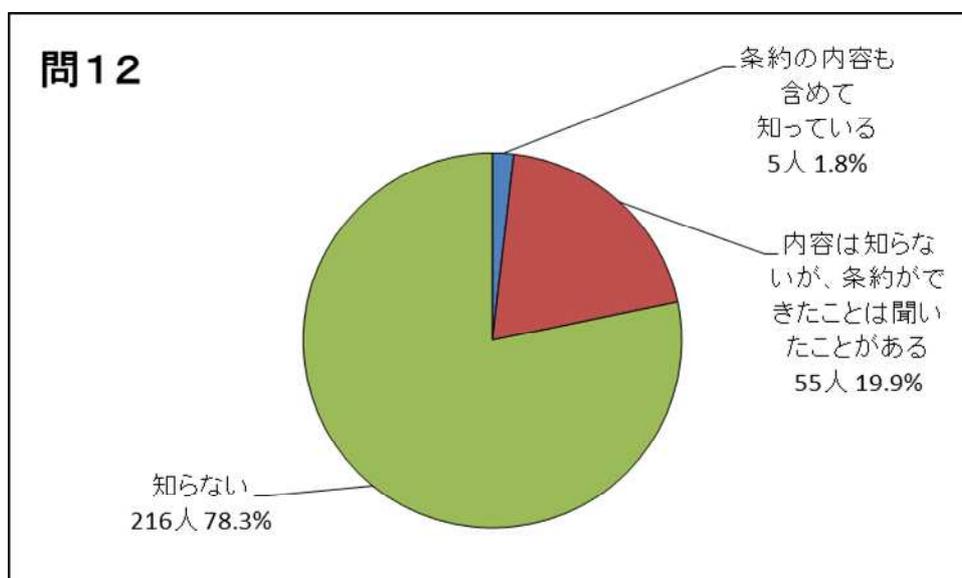
（ア）（イ）（ウ） 問11へ



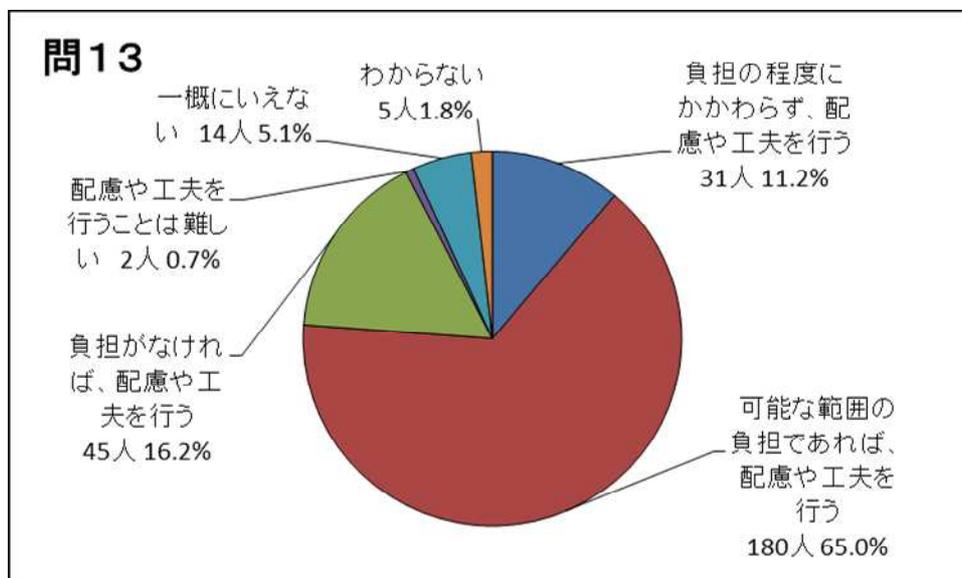
問11 問10で「(ア)障害の特性も含めて知っている」、「(イ)一部を知っている」、「(ウ)詳細は知らないが、障害の名称は聞いたことがある」と答えた方に伺います。「発達障害者支援法」では、発達障害を持つ本人やその家族に対する支援が求められています。そのためには、発達障害についてまわりの理解が重要ですが、あなたは、発達障害について社会の理解があると思いますか。この中から1つだけお答えください。



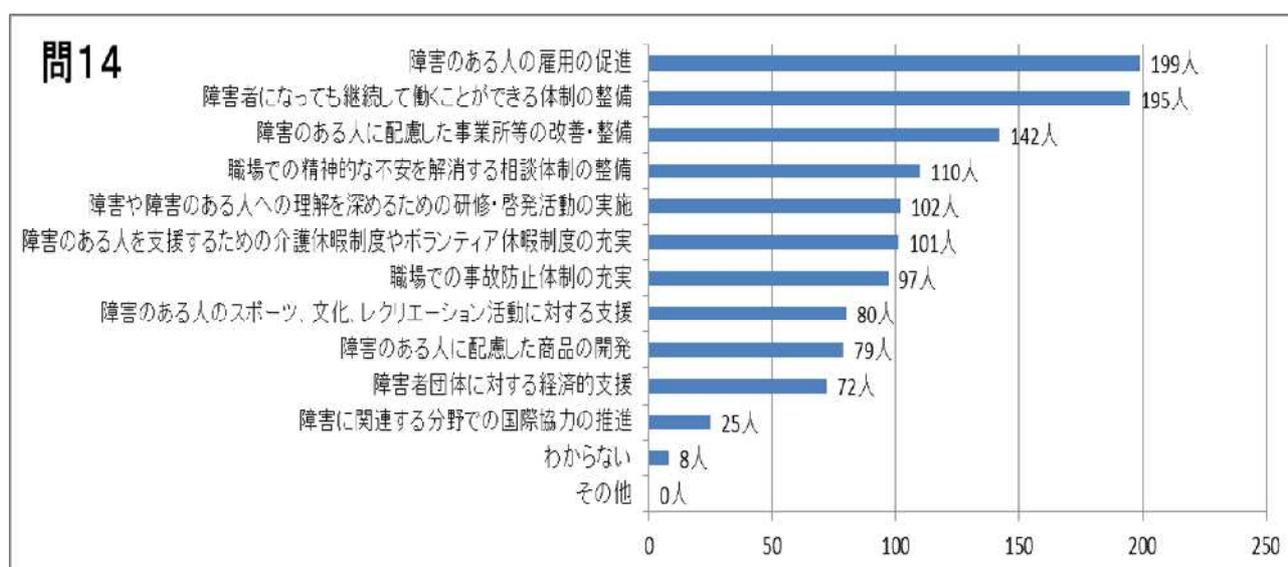
問12 国連は、平成18年12月、障害者の権利や尊厳を保護・促進するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のある人が障害のない人と同じように暮らすためのさまざまな施策を包括的に定める「障害者権利条約」を採択し、日本はこの条約の締結に向けてさまざまな取組を進め、平成26年1月、批准したところですが、あなたはこの条約のことを知っていますか。この中から1つだけお答えください。



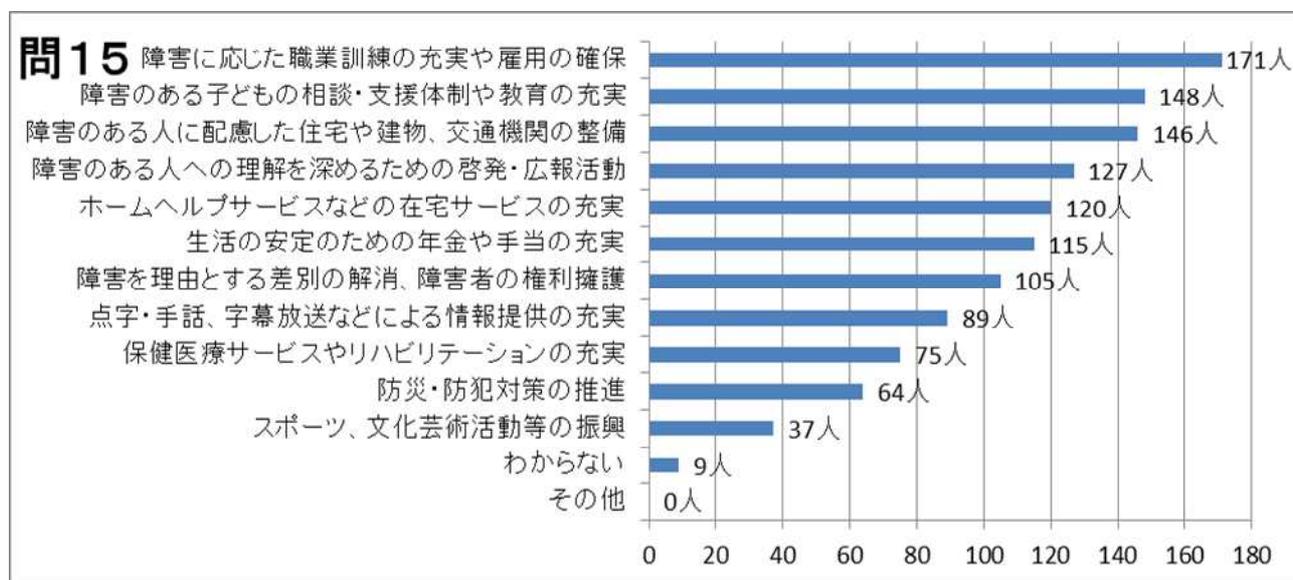
問13 障害のある人となない人が同じように生活していくために必要となること、例えば、商店の入り口などのスロープの整備や点字ブロックや音声案内などの配慮や工夫を行うことをあなたが求められた場合、経済的な負担を伴うこともあります。あなたはどのようにしますか。この中から1つだけお答えください。



問14 あなたは、障害のある人のために企業や民間団体が行う活動について、どのようなことを希望しますか。この中からいくつでもあげてください。



問15 障害のある人に関する国や地方公共団体の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものをこの中からいくつかあげてください。



問16 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障害者施策は進んだと思いますか。この中から1つだけお答えください。

